

平成28年11月30日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

総務文教常任委員会委員長 寺林 俊幸  
民生常任委員会委員長 東口 隆弘  
産業建設常任委員会委員長 田口 廣之

### 所管事務調査報告書

総務文教常任委員会、民生常任委員会、産業建設常任委員会による合同委員会において、次のとおり所管事務調査を終了したので、会議規則第77条の規定により報告します。

### 記

#### 1 調査事項

忠類地域の振興、活性化について

#### 2 調査の経過

(1) 調査期日 平成28年7月21日（1日間）

出席者 寺林俊幸、野原恵子、板垣良輔、小田新紀、岡本眞利子  
千葉幹雄  
東口 隆弘、藤谷 謹至、内山 美穂子、若山 和幸、  
谷口 和弥、中橋 友子  
田口廣之、小島智恵、荒 貴賀、高橋健雄、小川純文、  
藤原 孟  
芳滝 仁（以上19人）

欠席者 乾 邦廣

(2) 調査期日 平成28年8月4日（1日間）

出席者 寺林俊幸、野原恵子、板垣良輔、岡本眞利子、千葉幹雄  
東口 隆弘、藤谷 謹至、内山 美穂子、若山 和幸、  
谷口 和弥、中橋 友子、乾 邦廣  
田口廣之、小島智恵、荒 貴賀、高橋健雄、小川純文、  
藤原 孟

- 芳滝 仁 (以上19人)
- 欠席者 小田新紀
- (3) 調査期日 平成28年9月14日 (1日間)
- 出席者 寺林俊幸、野原恵子、板垣良輔、小田新紀、岡本眞利子  
千葉幹雄  
東口 隆弘、藤谷 謹至、内山 美穂子、若山 和幸、  
谷口 和弥、中橋 友子、乾 邦廣  
田口廣之、小島智恵、荒 貴賀、高橋健雄、小川純文、  
藤原 孟  
芳滝 仁 (以上20人)
- (4) 調査期日 平成28年10月25日 (1日間)
- 出席者 寺林俊幸、野原恵子、板垣良輔、岡本眞利子、千葉幹雄  
東口 隆弘、藤谷 謹至、内山 美穂子、若山 和幸、  
中橋 友子、乾 邦廣  
田口廣之、小島智恵、荒 貴賀、高橋健雄、小川純文、  
藤原 孟  
芳滝 仁 (以上18人)
- 欠席者 小田新紀、谷口 和弥
- (5) 調査期日 平成28年11月17日 (1日間)
- 出席者 寺林俊幸、野原恵子、板垣良輔、小田新紀、岡本眞利子、  
千葉幹雄  
東口 隆弘、藤谷 謹至、内山 美穂子、若山 和幸、  
谷口 和弥、中橋 友子  
田口廣之、小島智恵、荒 貴賀、高橋健雄、小川純文、  
藤原 孟  
芳滝 仁 (以上19人)
- 欠席者 乾 邦廣

### 3 調査の内容

別紙報告書のとおり

総務文教常任委員会  
民生常任委員会 合同委員会報告書  
産業建設常任委員会

○ 全体調査項目

忠類地域の振興、活性化について

○ 各常任委員会調査項目

(1) 総務文教常任委員会

- ・アルコ 236 及び道の駅・忠類に係る指定管理について
- ・忠類ナウマン象記念館について

(2) 民生常任委員会

- ・忠類へき地保育所について
- ・忠類地域のデイサービス事業について
- ・敬老入浴事業について
- ・忠類地域の定住対策について  
(忠類地域民間賃貸住宅建設促進事業など)

(3) 産業建設常任委員会

- ・アルコ 236 及び道の駅・忠類について
- ・ナウマン公園（キャンプ場・パークゴルフ場を含む）について
- ・忠類白銀台スキー場について
- ・JA 忠類農畜産物直売所 菜の館ベジタについて
- ・高規格幹線道路 帯広広尾自動車道忠類 IC 開通による影響について
- ・国道 236 号線沿いの町有地の売却について

「忠類地域の振興、活性化について」は、3つの常任委員会に関わることであり、3常任委員会合同による委員会を設置し、所管事務調査を行った。

委員会を7月21日に設置し、以後5回会議を開催し、町から資料提出と担当課からの説明を受け、意見を交わした。

報告書は、会議で出された各委員からの意見、要望を集約し、これをもって報告とする。

#### アルコ236及び道の駅・忠類について

- ・アルコ236を維持していくことは、地域住民の希望だと思う。建設から22年が経過し、近い将来、リニューアルや設備の更新にどれぐらいの投資が必要かという計画を持つべきである。
- ・アルコ236は、ふるさと創生の1億円を使って作った温泉である。村民の方たちの希望の施設であったと思う。当時の思い、地域住民の方たちの思いが否定されることのないような計画で進んで欲しい。
- ・アルコ236は町の施設。冷静に考えてどうあるのが一番良いのかを考えるべきである。
- ・野菜の販売所ベジタについては、経営のあり方、場所も含めて、利用者が利用しやすいことを第一に考えないとリピーターが増えない。魅力ある道の駅にするには、地場の野菜を道の駅に取り組むことが望ましく、取り込まないまでも歩いて行こうと思える距離になればならないと思う。

#### 指定管理について（㈱忠類振興公社について）

- ・議会として12月までに、アルコ236、道の駅・忠類を指定管理にして、このままでいいのか、どうなのかという議決をしなければならない。議会に判断するだけの方向性を示していただきたい。
- ・道の駅は忠類振興公社が運営するが、従業員はアンビックス㈱から派遣するというのは複雑ではないか。全部委託した方がいいのではないか。
- ・指定管理の期間は3年から5年を基準にするということであり、その基準を超えて行う場合は、理由を明らかにすべき。また、基本は公募である。
- ・アルコ236、道の駅・忠類について、業務提携することになれば、忠類振興公社はあるけれども、事実上は企業にほとんどを任せる二重構造に見えてしまう。
- ・忠類振興公社の役割をもっと明確にしていだかないと、指定管理の良し悪しの判断にならない。
- ・指定管理の募集にあたり、公募をしなくてもいい3つの要件の中身について、もっと確たるものを出していただかなければ、本来の公募の原則を外してまで行うという説明が、町民の方に理解していただけないのではないか。
- ・忠類振興公社のここ5年間の業績が悪いということは否めない事実。また、アルコ236がもたらす地域内の経済活動、循環型の経済があるのも事実であり、公社が地域に根差した会社であることをこれからも示しながら、活動、運営していただきたい。
- ・経営の立て直しを早期に実現し、町が社長を出すのではなく、株主や外部から出す方策を探っていかなければならない。

- ・いつまでもお湯を燃料で沸かすやり方で行くのではなく、新しい手法を取り入れて低コストでやっていくこともどんどん提示していただかないと、町民全体に理解していただくには厳しいものがあると思う。
- ・10年で黒字にするというのだから、アンビックス㈱に渡してあげればいいのか。
- ・全体に何億かかって、何年維持して、どういうふうにするんだという全体的なものを出していただけなかったら、審議のしようがないと思う。

#### 忠類へき地保育所について

- ・同じ町内でいろいろな形態の（保育所の）運営があることに違和感を感じる。直営を決断したならば、保育の一貫性として土曜保育は行うべきである。
- ・何歳から預かるかもきちんと論議して、できれば統一基準で行うべきである。保育料についても、保護者の方たちときちんと論議を重ねること。職員体制も改善すべき。
- ・町では、若い人の定住を進めるために、子育て施策を行っているのだから、忠類地域の振興策、若い人でも忠類に来ることができるというためにも忠類保育所の保育内容を検討して欲しい。
- ・町全体の保育の実態を、忠類保育所の保護者にも説明するべきであり、住民合意をしっかりと進めていくべき。
- ・地域の活性化ということで、忠類以外の地域と同じように常設保育所として開設していくことが求められていると思う。このことが、安心して子どもを預け、その地域で働いていけるという条件提示のひとつとなると思う。
- ・保育所の関係は、単に保育の問題だけでなく、子育て支援、忠類地域への定住支援にもつながる。なるべく早く町HPなどに掲載するなどして、広くPRすることが、トータルでの忠類地域での活性化になる。

#### ナウマン公園について

- ・計画性のある公園整備を行うべき。
- ・ウォータースライダーは水を使うので、着替えなどの場所やトイレは必要である。是非検討を。

#### 白銀台スキー場について

- ・白銀台スキー場や公園管理についても、（アルコ236、道の駅・忠類と）一緒に指定管理できないか。スキー場を取り込むことにより忠類全体の活性化が図られるのではないか。

#### その他

- ・忠類地域のごみ処理は、南十勝複合事務組合で行っており、ごみの処理の仕方もごみ袋も異なっている。
- ・火葬場も南十勝複合事務組合で行っている。一体感の醸成を進めるうえで、町として新たな火葬場の建設の検討に当たっては、忠類地域を含めた施設のあり方について中長期的な視野を持っていただきたい。